

ワークショップを母体とする 地域活動に関する報告

札幌開発建設部 札幌南農業事務所 第2工事課 ○中川 哲平
羽原 信也
大川 康広

国営農地再編整備事業「由仁地区」の実施にあたっては、①町有地周辺整備構想、②排水路整備構想、③防風林整備構想について、受益農家を含めた地域住民のニーズを十分に把握するとともに、ワークショップにおける検討項目整備を進め、住民の手による「整備構想づくり」、「直営施工」及び「施設の維持管理組織の設立」等を実践している。

また、「由仁地区」で整備した施設を含め地域（農村）活性化に係る検討も行っている。本報では、これら活動の経過や活動に関する波及効果について報告を行うものである。

キーワード：地域活動、地域活性化、地域交流・連携、住民参加

1 まえがき

国営農地再編整備事業「由仁地区」では、由仁町関係団体参加の下、平成16年度から現時点まで25回のワークショップ（平成18年度「みんなでつくる農業・農村の会」に改称）を開催し、地域の振興・活性化を検討する場として活動している。

本報では、これらの具体的な取り組み及びその効果について報告する。

（ワークショップは、参加者が自主的に作業する環境を整え、参加者全員により問題解決やトレーニングを行う手法である。近年では住民参加型まちづくりにおける合意形成の手法としてよく用いられている。）

2 由仁地区の概要

本地区は、空知支庁管内南部、夕張郡由仁町に位置する夕張川左岸に拓けた水田地帯である。地域の農業は、水田を中心とした土地利用型農業に加え、収益性の高い野菜や花卉の導入による集約的な複合経営を目指し、近年は有機・減農薬米などの安全・安心かつ高品質な米の生産に取り組んでいる。

受益面積1,100ha（1,095haの区画整理と5haの農地造成（地目転換））を抱える本地区は、圃場の大区画化や担い手農家への農地集積などによる農用地の効率的利用並びに生産性の向上を図り、農業振興を基本とした地域の活性化を行うことを目的とし、平成16年度から事業を開始し、平成23年度に完了を予定している。



図-1 由仁地区位置図

3 由仁地区におけるワークショップの取組

ワークショップ開催にあたっては、「由仁町にあったらよいもの」の抽出から検討を開始し、種々のテーマについての議論を重ね、メインテーマを「農村の魅力のPRと地域活動の活性化」と「自然と景観の維持と創出」に定め、地域に密着したワークショップ活動を行ってきた。

(1) ワークショップの運営体制

運営体制は、由仁町、水土里ネット由仁、JAそらち南、札幌南農業事務所が事務局となり、以下の団体組織の参加の下、ワークショップを開催している。

- ・ 由仁町民
- ・ 由仁町商工会女性部
- ・ 由仁地区受益者
- ・ そらち南農協女性部
- ・ 由仁町フラワーマスター協議会
- ・ ゆにハーブの会
- ・ ゆにフレグランスの会
- ・ 由仁町学校関係者
- ・ 郷土資料研究会
- ・ 育成会
- ・ 老人クラブ
- ・ 支庁
- ・ 期成会



写真-1 植樹の様子

開催方法は、事務局にて前回のワークショップの内容から課題抽出を行い、これを次回の議題として、各団体の参加を募ることとしている。

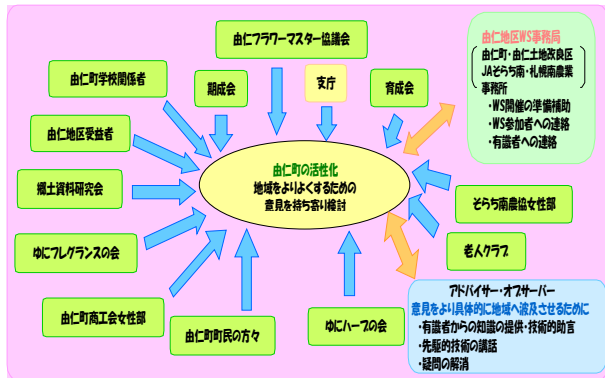


図-2 ワークショップの運営体制

(2) ワークショップにおける具体的活動

ワークショップでは、「農村の魅力のPRと地域活動の活性化」と「自然と景観の維持と創出」というメインテーマの下、主に次の3つについて取り組んできた。

- ・ みんなが楽しめる防風林づくり (平成17年～)
- ・ 動植物にやさしい排水路計画 (平成18年～)
- ・ 歩いて由仁町再発見 (平成19年～)

以下に、それぞれの取組を具体的に紹介する。

a) みんなが楽しめる防風林づくり

本地区は、太平洋側から流れ込む季節風の影響を受け、高品質米比率が低下している。事業では、この季節風から稲を守る目的で、ミズナラを防風林として整備している。

ワークショップでは、植樹場所の選定、樹木の勉強会を行い、由仁町のHPで参加者を募り、植樹を行った。

Tepei Nakagawa, Shinya Habara, Yasuhiro Okawa

さらに植樹後のワークショップでは、由仁町以外の人たちに防風林帯をPRすべく、案内看板の設置を行うことになり、地元住民及び地域の小学生の協力の下、看板内容の検討・設置を行った。

また、防風林の維持管理に向け、地域住民有志は「ゆに美の郷を守る会」を発足し、草刈り、ゴミ拾い、花の植栽などを行ない、継続的な活動への足がかりを創出している。



写真-2 PR看板の設置

b) 動植物にやさしい排水路計画

由仁地区内には、多様な動植物が生息しており、それらを保全し、環境との調和に配慮した工法が求められている。

本地区にて改修を行う第1号支線排水路整備の設計にあたっては、ワークショップで出された意見を参考に整備区間周辺の景観や環境に配慮した工法を取り入れることとした。

具体的には、ワークショップにおいて「河川を蛇行させる」、「木をなるべく伐採しない」、「動植物が息できる環境」、「景観の維持」、「維持管理の軽減」等の意見が出たことから、線形を蛇行させ、魚類の退避場所や餌場等の機能及び水際植物の早期回復が期待できる自然石を貼り付けた石張りネット工法を用いて整備した。



写真-3 石張りネット



写真-4 環境配慮型排水路

整備された排水路は、地域児童等の遊び場となるなどの親水空間を生み出しており、地域住民の憩いの場としても活用されている。



写真-5 環境配慮型排水路にて散策を楽しむ地元住民

Teppey Nakagawa, Shinya Habara, Yasuhiro Okawa

c) 歩いて由仁町発見

由仁町は、夕張川中流域に拓けた豊かな自然に囲まれた水田地帯であり、夕張川沿いの河畔林やなだらかな河岸段丘等のある良好な景観な町である。これらに加え本地区で区画整理工事を実施した地域にあつては、用排水路・耕作道路及び防風林が整備され新たな農村景観を創出している。

また、由仁町内には史跡や観光施設、花卉や地域の農産物を加工した販売施設が点在しており、地域の魅力を再発見するとともに地域活動の活性化に向けた取り組みの一つとして、ワークショップではウォーキングルートを策定することとなった。

具体的なワークショップ活動としては、ルート選定及びパンフレットの作成を行うこととした。

ルート選定にあつては、地域外の人から見た場合を想定し、自然豊かな田園風景を比較的短時間で気軽に歩けることを念頭に、参加者から町の魅力について様々な意見を出してもらい、また実際に現地確認をしながら、集約していった。なお、選定したルートは、過年度ワークショップで取り組んだ防風林及び環境配慮型排水路も組み込んだものとなっている。



写真-6 ルート選定にあつての現地確認

また、パンフレット作成にあつては、選定したルートをより魅力的に伝えることが出来るよう、パンフレットのデザインそして、どこに配布すればより効率的な情報発信ができるのかを参加者の発表等、主体的な取組を通じて決定した。



図-3 ウォーキングルートパンフレット(表)



図-4 ウォーキングルートパンフレット(裏)

4 ワークショップの効果

当該ワークショップは、当地区の実施に係る整備構想樹立にあたっての受益農家や地域住民との意見交換の場として、また、事業を契機とした地域の振興・活性化を検討する場として積極的な活動を行ってきた。

地域が持つ魅力や財産の再発見・検証を行い、その有効な利用発展に向けた議論やフィールドワークを行うワークショップの活動は、地域住民有志による防風林帯維持管理組織の樹立や周辺農家の用排水路維持管理頻度の増加等を誘発する等、地域住民の自発的行動の契機ともなっている。

また、ワークショップが作成し、地元観光施設等(ゆにガーデン、ユニの湯、ぽっぽ館等)に配布したウォーキングルートマップは、早々に初版を完配し、掲載されたルートを訪れる観光客が確認されるなど、由仁町の魅力をアピールするとともに、地域の活性化に繋がる着実な効果が発現しつつある。

これ以外にも、ワークショップ参加者からは、「様々な世代と交流することができ、また現地を歩くことで自

Tepei Nakagawa, Shinya Habara, Yasuhiro Okawa

分の知らないことを知ることが出来た」との意見が数多く寄せられており、改めて地域を見直す良い機会となっているとともに、地域住民の連携促進、更なる活動への意欲高揚が促されていることが感じられる。

5 あとがき

「由仁地区」におけるワークショップは、関係行政機関が事務局としてサポートを行って活動してきたが、平成21年度からは参加住民が所属する各団体からも事務局に参加する形式に移行し、住民主体による地域振興・活性化への取り組みが、より積極的に行える場として整いつつある。

また、地区内受益農家による由仁産米を使ったおにぎり屋(写真-7 左上)や飼育している牛の牛乳を使ったアイスクリーム屋(写真-7 左下)が国道に面して営業されており、盛況を博しているなど、国営農地再編整備事業実施を契機に効率化された農業経営の効果が早々に発現している。

これらに加え、地区内には花卉栽培など高付加価値作物の栽培を手がける農家も増え始めていることから、ユニの湯(写真-7 右上)や、ゆにガーデン(写真-7 右下)などの観光施設等と連携した活動や、農業を中心とする地域の活性化に向けた新たな取り組みの創出が期待される所であり、事業主体である我々もこれらの活動に積極的に参加して参りたいと考えている。



写真-7 由仁町の周辺施設